

## 平成22年度

## 町政執行方針



## 《はじめに》

私は、この度の町長選挙におきまして、多くの町民の皆さんのご推挙、ご支持をいただく中で、町民の代表として第18代町長に就任させていただきました。

平成22年浜頓別町議会第2回定例会の開会にあたり、私の町政執行に対する基本方針をここに申し上げます。

今日の地方行政を取り巻く環境は、道州制や地方分権、新政権による地域主権の推進という大きな時代の流れの中で、自己決定、自己責任が求められています。このことは、地域の取り組み如何によって、行政サ-

ビスの質や住民生活に格差となつて現れる時代に入つたことを意味しています。

ここで私たちに求められるのは、町民の皆さんと行政が一体となつて、知恵を出し合いピンチをチャンスに変えていくことでもあります。

私は、「明るく元気な共に支え合うまち」、温もりのあるまちづくりに、町民の皆さん、町議会議員の皆さんと力を合わせ取り組んでまいります。

## 《町政の推進に臨む姿勢》

町の財政は、引き続き厳しい状況にあります。財政の健全化路線を堅持する一方で、基幹産業の振興等、主要施策の推進に努めてまいります。私は、この度の選挙を通じて、「対話」と「協働」により住民と行政が一体となつたまち、「明るく元気な共に支え合うまち」と申し上げてまいります。

財政は厳しく、人口の減少傾向も続いています。しかし、そんな中にあつても私たちは明るく元気でなければなりません。住民同士がお互いに声を掛け合い、共に支え合う、そ-

な温もりのあるまちでありたい。そして明るく元気なまちの姿を道内外に発信し、恵まれた自然環境や新鮮な地場産品を活かし、多くの人たちにこのまちに訪れていただきたい。そういう思いを強くしているところであります。

私は、主要な施策の推進にあたり、次の挑戦をしてまいります。

## ①対話と協働

「対話」は、町民と行政が同じ目線で考え、話し合うことから始まります。そこから、町民と行政の一体感を高めていくことが「協働」の理念であります。

話し合いの中から新しい可能性が生まれ、行動の中から新たな展望が開かれるものと考えます。町民と行政が共に考え、共に行動するまちづくりに挑戦してまいります。

## ②現場主義と住民目線

町民の皆さんの働く現場、生活する現場にできるだけ赴き、「見て」「聞いて」「感じる」ことで、住民目線の町政運営に努めてまいります。住民目線は現場主義からという考えのもと、明るいまちづくりに挑戦し-

てまいります。

## ③ピンチをチャンスに

国内経済は、緩やかな回復基調とされていますが、地方に暮らす私たちにはその実感が伴わず、厳しい環境から脱しきれないままです。

このようなときこそ、町民と「危機意識」を共有し、町民全ての力を結集して展望を切り開いていくことが重要です。今こそ元気と知恵を出し合い、ピンチをチャンスに変えていくときであり、その可能性に挑戦してまいります。

## ④価値の再認識と活用

我が町には、沢山の財産があります。それは優れた自然環境であり、深い歴史であり、尊い4千100余名の人財であります。これらの財産を今一度見つめなおし、再認識することが重要です。

命の水を供給する珠文岳などの山々、そこから生まれる広大で肥沃な土地と、栄養豊富なオホーツクの漁場、そしてこれらの良さを最大限に引き出す人財。これら全ての財産価値を最大限に活かすまちづくりに挑戦してまいります。

## 《主要な施策》

### (1) 地域産業の振興・発展を図ります

地域産業の基盤を安定化し産業力を強化させるためには、民間と行政がお互いに知恵を絞り協力することが不可欠です。地場産品や人材力を最大限に活かし、活力ある地域産業づくりを推進してまいります。

酪農業は、農業者の法人化やTMRセンターの設立等により、分業化や効率化が進められています。現在計画を進めている国営農地再編整備事業の早期着工に努めるとともに、畜産担い手育成総合整備事業など酪農経営の基盤強化を推進してまいります。中山間地域等直接支払制度は、第3期の事業を推進してまいります。また、新規就農対策や花嫁対策など、本町の酪農が永続的に発展できるように、農業委員会や関係機関などと連携し、取り組んでまいります。

近年は、口蹄疫など、酪農や畜産に大きなダメージとなる家畜伝染病が蔓延する傾向にあります。関係機関と連携を密にし、情報収集や適切な対応に努めてまいります。

水産業においては、拠点となる頓別漁港の浚渫や、斜内漁港の整備など引き続き要請してまいります。また、道営頓別地区広域漁港整備事業を推進してまいります。ホタテ増殖事業やさけの放流事業、内水面増殖事業に支援をし、より効果的な事業の推進に向け関係機関等と連携し、

調査や研究に努めてまいります。漁業協同組合が、本年度において計画している漁場監視リーダー整備事業に支援してまいります。

林業は、輸入木材が主流となり国産木材業の低迷が続いていますが、森林が持つ力は温暖化防止対策等の観点からも大変重要であり、町民植樹祭などを通じて森林の大切さを啓発するとともに、貴重な財産である森林の環境整備に取り組んでまいります。このため町有林・民有林の整備、21世紀北の森づくり推進事業や森林整備地域活動支援交付金事業を推進してまいります。

商工業においては、商工業者の経営の安定化や近代化に向け、商工会等関係機関と連携し取り組んでまいります。生産者と消費者を結び地域産業を応援しようという「地産地消」の考え方を、地域の製造業やサービ



ス業などのあらゆる産業まで拡大させた「産消協働」の意識に高め、地場産品の消費拡大やグリーンツーリズムへの取り組みを通して、地域経済全体の活性化に取り組んでまいります。

また、地場食材を使った特産品開発や浜頓別ブランドの確立に努めてまいります。

観光においては、自然環境や地場産品などの情報を発信し、一度我が町を訪れた方が、再びリピーターとして来ていただけるような受け入れ態勢の整備・充実に努めてまいります。また、観光協会や観光関連団体との連携を強化し、官民一体となった観光振興体制の充実に努めてまいります。

一昨年より交流のある都市部の学生達が、地域との交流などを目的に本年8月に開催を企画しているエコツアーに支援してまいります。

消費者保護対策については、消費者行政活性化事業を活用し、巧妙で増加傾向にある悪徳商法被害等を防止するため、的確で迅速な情報提供に努めていくとともに、消費者協会、関係団体等と連携を図り、安全で安心な消費生活ができるように努めてまいります。

雇用対策は、地域産業の活性化が地元雇用を確保する上で大変有効と考えます。稚内地方通年雇用促進協議会や浜頓別町雇用対策協議会と連携し、人材育成を図るための技能・資格取得などに支援するとともに、

雇用対策の推進に努めてまいります。

### (2) 保健・医療・福祉の充実を進めます

町民の皆さんが、安全・安心に生活を営むことは、町政を遂行する上で重要な課題であります。元気に健康で暮らせる生活環境づくりを推進しながら、怪我や病気になった場合など町民の困難に対応できる医療や福祉の充実に努めてまいります。

子どもは町の宝であり、家庭と地域と行政が一体となって育むものです。本年度、後期計画としてスタートした「浜頓別町次世代育成支援行動計画」により、子どもや家庭における子育てを支援してまいります。

また、就学前の子どもたちの環境整備を図るため、幼保一元化による認定子ども園の開設に向けた準備を進めてまいります。

